

## 平成24年度 水稲関係生育調節剤試験判定結果

公益財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成24年度水稲関係生育調節剤試験成績検討会は、平成24年12月10日、植調会館会議室(東京都台東区)において開催された。

本年は、健苗育成・直播での苗立ち安定を目的としたもの2剤(作用性3点、適用性7点)、登熟向上を目的

としたもの3剤(適用性8点)、倒伏軽減を目的としたもの4剤(適用性20点、なお1剤は目的の異なる2試験を実施)について試験成績の報告および検討が行われた。

適用性試験での薬剤・目的別の判定結果は、次表の通りである。

## 平成24年度 水稲関係生育調節剤試験 供試薬剤および判定・使用基準一覧

## (健苗育成)

No.	薬剤名 有効成分及び含有量 [委託会社]	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	NF-1717アブル 新規成分:10% [日本曹達]	[作用性] ・根伸長、根数に対する影響 [適用性] ・育苗箱処理による健苗育成効果の確認	新潟 農業総合研究所作物研究センター 植調研究所(茨城) 滋賀 農業技術振興センター 山梨 総合農業技術センター 滋賀 農業技術振興センター 京都 丹後農業研究所 兵庫 植防	— 継		効果・被害の確認
2	CAL-88粉粒 過酸化カルシウム:16% [保土ヶ谷UPL]	[適用性] ・乾田直播での適用性の検討(東北以南)	植調石川試験地 兵庫 農林水産技術総合センター 植調岡山試験地	実・継	乾田直播での水稲発芽率の向上、苗立歩合の安定 ・北海道 全域 ・播種前浸種後 ・乾燥種初重量の等倍量 ・湿粉衣 注:播種後早期入水条件で使用する。	2倍量粉衣での効果・被害の検討

## (登熟向上等)

No.	薬剤名 有効成分及び含有量 [委託会社]	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	イソプロチオラン1kg粒 イソプロチオラン:36% [日本農業]	[適用性] ・登熟向上効果の検討 ・年次変動の確認	新潟 県央研究所 植調兵庫試験地	実・継 (前年どおり)	登熟向上効果 ・出穂10~20日前 ・1kg/10a ・湛水散布	年次変動の確認
2	NGR-072粒 イソプロチオラン:12% エチプロール:1.5% [日本農業]	[適用性] ・高温登熟下での登熟向上、品質向上(白未熟粒発生軽減等)効果の検討	新潟 県央研究所 植調青梅試験地 植調兵庫試験地	継		効果・被害の確認
3	NGR-1202シヤンホ イソプロチオラン:36% [日本農業]	[適用性] ・登熟向上効果の検討	植調福島試験地 新潟 県央研究所 植調兵庫試験地	継		効果・被害の確認

## 〈倒伏軽減〉

No.	薬剤名 有効成分及び含有量 〔委託会社〕	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	SSDF-18粒 ウニコゾールP:0.004% N-P-K=18-12-12 〔住友化学〕	〔適用性〕 ・移植水稲での側条施用 における倒伏軽減効果お よび薬害の検討	新潟 県央研究所 兵庫 農林水産技術総合センター 植調岡山倉敷試験地 *油日アグロリサーチ(滋賀)	寒	節間短縮による倒伏軽減 ・側条施用 ・移植時 ・15~30kg/10a (基肥として施用)	
2	SSDF-20W粒 ウニコゾールP:0.003% N-P-K=20-12-12 〔住友化学〕	〔適用性〕 ・移植水稲での全面施用 土壌混和処理における倒 伏軽減効果および薬害の 検討	兵庫 農林水産技術総合センター 愛媛 農林水産研究所 *金沢大学 *油日アグロリサーチ(滋賀) *島根大学	寒・継	節間短縮による倒伏軽減 ・全面土壌混和 ・耕起~代かき時 ・22.5~30kg/10a (基肥として施用)	年次変動の確認
3	SSDF-21粒 ウニコゾールP:0.004% N-P-K=21-11-10 〔住友化学〕	〔適用性〕 ・移植水稲での側条施用 における倒伏軽減効果お よび薬害の検討	新潟 県央研究所 兵庫 農林水産技術総合センター 植調岡山倉敷試験地 *宇都宮大学	寒	節間短縮による倒伏軽減 ・側条施用 ・移植時 ・15~30kg/10a (基肥として施用)	
		〔適用性〕 ・直播水稲での全面施用 土壌混和処理における倒 伏軽減および薬害の検討	福井 農業試験場 植調兵庫試験地 *油日アグロリサーチ(滋賀)	実	節間短縮による倒伏軽減 (直播水稲) ・全面土壌混和 ・耕起~代かき時 ・22.5~30kg/10a (基肥として施用)	
4	SSDF-25粒 ウニコゾールP:0.004% N-P-K=25-10-8 〔住友化学〕	〔適用性〕 ・移植水稲での側条施用 における倒伏軽減効果お よび薬害の検討	兵庫 農林水産技術総合センター 植調岡山試験地 *信州大学 *油日アグロリサーチ(滋賀)	寒	節間短縮による倒伏軽減 ・側条施用 ・移植時 ・15~30kg/10a (基肥として施用)	

注: 試験実施場所欄の「\*」は、委託会社自主試験場所